

## 収集及び資源化の流れ（案）

※中間処理は(株)加藤商事リサイクルプラントで実施することを想定している。

	収集				資源化	
	品目	収集日	袋	頻度	品目	資源化事業者（直近3箇年）
現在	容リプラ	-	-	週1回	容リプラ	(株)エコスファクトリー
					硬質プラ（容リプラのなかで、硬質のもの）	(株)加藤商事

	収集				資源化		良点や懸念事項
	品目	収集日	袋	頻度	品目	資源化事業者（想定）	
案 1	プラスチック資源物（仮称）	同じ	容リプラと製品プラをひとまとめ	週 1 回	分別収集物	(株)富山環境整備 (株)広島リサイクルセンター ※指名競争入札等	○収集日はそのまま。 ○分別は比較的わかりやすくなる（プラはプラ、となるため）。 ●資源化可能な事業者が限られる。
案 2	プラスチック製容器包装	同じ	別々	週 1 回	容リプラ	(株)エコスファクトリー	○収集日はそのまま。 ○資源化の手法はそのまま。 ●必要な収集車両数が倍となる。 ●排出及び収集の際に、外観から 2 種類の見分けが難しい。
	製品プラスチック（仮称）			週 1 回～月 1 回	製品プラ	(株)加藤商事	
案 3	プラスチック製容器包装	別々	別々	週 1 回	容リプラ	(株)エコスファクトリー	○排出量に応じた収集頻度設定ができる。 ●プラの収集日が 2 種類存在するため、一見すると分かりにくい。 ●製品プラ用に収集車両を用意する必要がある。
	製品プラスチック（仮称）			週 1 回～月 1 回	製品プラ	(株)加藤商事	
案 4	現行と同じ						○市民側への制度変更に関する負担なし。 ●製品プラスチックの資源化推進については現状に留まる。